



奨励賞

旭川市



旭川市内小学生に出前授業でヒグマの生態や特徴を説明

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体
特定非営利活動法人 もりねっと北海道
【旭川市】

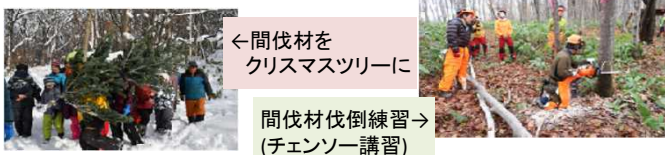
森育活動！「市民と森をつなぐ」「森の恵みを活かす」

はじめは？

NPO法人もりねっと北海道は「市民と森をつなぐ」「森の恵みを活かす」をテーマに発足しました。日本の森林は大きな面積がありますが十分活かされているとは言えず、市民も「緑は大切」「森に親しみたい」と感じてその道筋が見えにくい実情にあります。周囲を森に囲まれた旭川だからこそ、森とつながる市民の暮らしや産業文化が生まれるのではないかと。効率優先の林業技術ではなく、「手つかずの自然」とも違う、市民生活に近い、持続的で生物多様性に富んだ「森とのつき合い方」を実現するため、提案と実践、技術開発と普及というサイクルを繰り返しながらノウハウを蓄積し、還元したいと考えています。

おもな活動

「もりねっと」は市民のニーズと森の恵みをつなぐため、森の体験と環境教育、生態系を重視した森林管理の提案や小規模山林向けのデザインと作業受託、小型機材の技術開発、地域の木質バイオマス循環などを行っています。公共施設では道内初となる丸太ボイラー導入を提案し、間伐材の燃料供給を続けています。長年の間伐体験開催のノウハウをもとに、小冊子「森づくりとチェーンソー」を発行し、安全教本として利用されています。きめ細かく、個々人の声に耳を傾けながら日本の森林政策にも提言をしています。



←間伐材をクリスマスツリーに

間伐材伐倒練習→
(チェーンソー講習)

ここが自慢

【市民のニーズと森の恵みを繋ぐ活動】

森づくりの現場で働く「木こりスタッフ」が、環境教育や森のデザイン提案も担当しています。月1回の森薪塾は、山主志望者や森づくりに参加したいメンバーが、森の将来像を考えながら選木・間伐・搬出を体験し、丸太加工から山小屋作りまで、焚き火を楽しみながら進めています。「森の相談」は山主さんのニーズを伺いながら、自然の摂理に逆らわない森づくりを提案。地元の工芸作家には多様な樹種やサイズの素材「森薪塾」での間伐材運搬を提供し、「森とつながるモノ作り」を支援しています。



カタクリの大群落で知られる突哨山では、公園の指定管理者として人工林を本来の針広混交林に戻す試みや、間伐体験、花ガイド養成、学生実習などを行っています。

連絡先

代表者名：山本 牧さん／設立：2006年／会員：100名

住所：旭川市神居町雨紛380-3

電話番号：0166-60-2420

F A X：-

E-mail：ask@morinet-h.org

URL：http://www.morinet-h.org/